

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【浦和別所小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて
(3月)

年度末評価
(2月)

反映

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」 算数「変化と関係・データの活用」 <指導上の課題> 個人差が大きい。個に応じた支援や児童主体の学習活動を充実させていく必要がある。	⇒ 授業終わりにふり返しを行うことで、自ら課題を設定する【毎時間】。 書き込み式ドリルや学習アプリ、学習スペースを活用し、一人ひとりの課題に合った学習を進めることができるよう指導していく【週に1度】。 1人1台端末を活用し、学びのポイント「じ・しゃ・く」を意識した児童主体の授業を行い、成果と課題を確認する【1ヶ月毎】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」 算数「変化と関係・データの活用」 <指導上の課題> 個人差が大きい。個に応じた支援や児童主体の学習活動を充実させていく必要がある。	⇒ ICTを効果的に活用し、児童の「わかった・できた・楽しい」を引き出す。 また、魅力ある導入や必要感のある課題設定、解決の見通しをもって自力解決する場面の設定を行う【毎時間】。 根拠となる部分を引用して自分の考えを具体的に書くために、グラフ等の資料を用いる際、「誰が」「どのような視点で」「どのような単位で」などを意図的に問う。【関係単元毎】

全国学力・学習状況調査
<小6・中3>(4月～5月)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	

結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)
③分析共有(児童生徒の実態把握)

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

中間評価(9月)

目標・策の見直し

反映

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)